

貯 法：遮光・密栓・室温保存
使用期限：紙箱、容器等に記載
注 意：取扱い上の注意の項参照

手指用殺菌消毒剤

スクラベインS 4%液 ScrubeingS 4%

【禁忌(次の場合には使用しないこと)】

クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【組成・性状】

- 組成：クロルヘキシジングルコン酸塩液を20vol%含有
〔クロルヘキシジングルコン酸塩として4W/V%含有〕
添加物として
ラウリルジメチルアミノキシド、ラウリン酸ジエタノールアミド、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、グリセリン、エタノール、アラントイン、パルミチン酸イソプロピル、pH調整剤、赤色102号を含有する。
- 性状：スクラベインS 4%液は赤色澄明な粘稠性の液体で、特異なおいがある。
pH：5.5～7.0、比重 d_{20}^{20} ：1.045～1.065

【効能・効果】

医療施設における医師、看護師等の医療従事者の手指消毒。

【用法・用量】

- 術前、術後の術者の手指消毒の場合：
手指及び前腕部を水でぬらし、本剤約5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流し、更に本剤約5mLで2分間洗浄をくりかえし、同様に洗い流す。
1. 以外の医療従事者の手指消毒の場合：
手指を水でぬらし、本剤約2.5mLを手掌にとり、1分間洗浄後、流水で洗い流す。

**【使用上の注意】

- 慎重投与（次の場合には慎重に使用すること）
薬物過敏体質の者

**2. 重要な基本的注意

** ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。

**3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

** (1) 重大な副作用

ショック(0.1%未満)、アナフィラキシー(頻度不明)
ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

次のような副作用が認められた場合には使用を中止すること。

	0.1～5%未満
過敏症	発疹等

**4. 適用上の注意

(1) 投与経路

手指消毒以外の目的には使用しないこと。

(2) 使用時

- *1) 本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
- *2) 溶液の状態です長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

**5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与によりショック症状を起こした患者のうち数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異なIgE抗体が検出されたとの報告がある。¹⁾

【薬効薬理】

1. スクラベインS 4%液のグラム陰性菌に対する殺菌力²⁾

供試菌	供試菌数 CFU/mL	作用 時間 (秒)	スクラベインS 4%液
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15422	4.3×10^9	60	—
<i>Serratia marcescens</i> ATCC14756	2.5×10^8	60	—
<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	7.3×10^8	60	—
<i>Salmonella choleraesuis</i> IFO15335	4.9×10^8	60	—

(-)：死滅 (+)：増殖

2. スクラベインS 4%液のグラム陽性菌に対する殺菌力²⁾

供試菌	供試菌数 CFU/mL	作用 時間 (秒)	スクラベインS 4%液
<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	1.9×10^9	60	—
<i>Staphylococcus aureus</i> MRSA-1	2.2×10^8	60	—

(-)：死滅 (+)：増殖

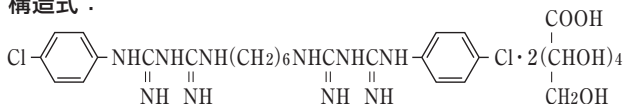
(裏面につづく)

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：クロルヘキシジングルコン酸塩液
(Chlorhexidine Gluconate Solution)

化学名：2,4,11,13-Tetraazatetradecanediiimide,
N,N^{bis}(4-chlorophenyl)-3,12-diimino-,di-D-
gluconate

構造式：



分子式：C₂₂H₃₀Cl₂N₁₀·2C₆H₁₂O₇

分子量：897.76

性状：クロルヘキシジングルコン酸塩液は、無色～微黄色の澄明な液で、においはなく、味は苦い。水又は酢酸(100)と混和する。本品1mLはエタノール(99.5) 5mL以下又はアセトン3mL以下と混和するが、溶媒の量を増加するとき白濁する。光によって徐々に着色する。比重d₂₀²⁰：1.06～1.07

【取扱い上の注意】

〈注意〉

- (1) 経口投与しないこと。誤飲した場合には、牛乳、生卵、ゼラチン等を用いて、胃洗浄を行うなど適切な処置を行う。
- (2) 本剤は希釈せず、原液のまま使用すること。
- (3) 本剤の付着した白布を次亜塩素酸ナトリウム等の塩素系漂白剤で漂白すると、褐色のシミができることがある。漂白には過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

〈安定性試験³⁾〉

加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヶ月)の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、本製剤は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

【包装】

1L(ポンプ付), 500mL(ポンプ付), 500mL

【主要文献】

- 1) 大井隆行 ほか：アレルギー, 33(9): 707, 1984.
- 2) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料
- 3) サラヤ株式会社 バイオケミカル研究所 資料

*【文献請求先】

サラヤ株式会社 学術部
〒541-0051 大阪市中央区備後町4-2-5 TEL.(06)4706-3938

製造販売元

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525(代表)